

夢をつなぐ～山崎直子～

校長 黒川 弘 教

宇宙飛行士の山崎さんは訓練をされていて、訓練自体が辛いのではなく、訓練できないことが辛いことであるといっています。また、練習は本番のつもりでやり、本番は練習のつもりでやれといっています。命の危機に向かいながら真剣に取り組んでいる人の言葉には重みを感じます。皆さんは、日常生活で、命と向き合うような出来事はないかも知れません。しかし、生活の中に取り入れるために参考となるのではないのでしょうか？

生きていること、健康なことに幸せを感じて欲しいと思います。走りたくても走れない。勉強したくてもできない。本を読みたくても読めない。今健康でいることが当たり前ではないのです。親に感謝し、地域に感謝しながら、何事にも全力で活動してほしいと願っています。

いろいろなことに感謝し、全力で取り組む態度を身に付け、それをどんどん受け継いでいき、心豊かな人があふれる世界こそ美しい世界ではないのでしょうか？

「一番辛いのはサバイバル訓練ではない。訓練したくても事故や諸々の事情で訓練できなかった」ときだった。

「地球で練習していると思うな！いつも宇宙にいると思え！」

「練習は本番のつもりでやれ！そして宇宙に行ったら練習のつもりでやれ！」

宇宙から帰ってきてしみじみ思ったことは、夫と娘が自分のすぐそばにいるという平穏な生活がなんて貴重なのだろうということだった。

今回のミッションに入ったとき、私達クルーは全員「遺書」を書いた。宇宙へ行くということは、必ず危険がついて回る。地上では予測もできないような出来事が起こらないとも限らない。そして地上と違って宇宙では、ほんのちょっとしたミスやアクシデントがそのまま生命に関わってくる。そのようなミッションから無事に生還できたことにホッとするとともに、何の変哲もない日々を送ることがどんなに大切なことかよくわかった。

どんな存在も決して無駄というものはなく、世の中の全てのものには意味がある。だから数式や法則に還元することができるのだ。その美に満ちあふれた地球を宇宙という外側の世界から見たとき、その思いは確信となった。どんなに悲惨な災害が人々を襲おうとも、生きている世界は美しい。そして、この美しい世界を私たちは守って、次の世代に渡さなければならない。今より少しずつ、よりよい姿で！

悲しみや憎しみを無くすため、子どもたちが笑顔でいられるためにも美しい世界を、地球を守っていかなければならない。

私一人の思いは、ほんの小さなものでしかない。でも、すべての大人たちの夢や希望が子どもたちに受け継がれていけば、未来はきっと明るいものではないだろうか。

縦割り班で思い出作り！全校遠足！

2月21日（水）に行われた今年の遠足の目的地は、波妻の鼻わくわくランド。行きは全校児童が徒歩です。低学年にはやや距離が長いコースでしたが、最後まで頑張って無事目的地に到着しました。今回のメインは、そり滑り対決！芝生の上を段ボールで作ったそりに乗り、着順を競う競技です。個人戦と団体戦があり、優勝者には金メダルが送られました。当日はとても暖かく、春を感じさせる陽気の中、子どもたちは、縦割り班で思い出作りができました。



ふるさと浅海 forever! 名石山登山& 記念植樹



2月17日（土）、6年生・保護者・名石山保存会の方々とともに、登山と記念植樹が行われました。この行事は卒業記念として長く続いているものです。当日は晴天で、頂上から見える景色はとてもすばらしく、卒業生の心に残る1日となりました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

さすが6年生！えひめ子どもITスタジアム優勝おめでとう！

愛媛県の小学生が種目別で記録を競う「えひめ子どもスポーツITスタジアム」。今年度のスローアンドキャッチラリー6年生の部で、浅海小学校が優勝しました！2月24日（土）に県武道館で表彰式とともに、代表として試技を披露しました。小さな学校でもやればできる！誇らしく、すばらしい6年生ですね！

